

	<h1>論理国語</h1>	
--	---------------	--

教科	科目名	単位数	学年・コース	教科書名	副教材
国語	論理国語	3	3年 S選抜文系	論理国語 (筑摩書房)	『ちくま文学講読』[副読本](筑摩書房) 『入試現代文へのアクセス 発展編』(河合出版) 『新版 七訂総合国語便覧』(第一学習社) 『入試漢字マスター1800+』(河合出版)

学習目標	これまでの学習をふまえ、高校における「現代文」の完成を目標とします。 進路決定に向けて確かな(受験)学力を培うことはもちろん、徒に小手先の技術に走るのではなく生涯にわたって有効な読むこと／書くこと／話すこと／聞くことの力の涵養を目指しましょう。
学習の進め方	単元学習では、特別な予習は必要とされません。 授業への主体的な参画、自ら問題意識をもって、テキストと対峙することが求められます。 問題演習では、担当教員の指示に従い、演習に取り組みましょう。 演習には、自らの課題を明確化し、目的意識をもって取り組むことが重要です。
評価対象・方法	定期試験／小テストの成績を中心に、課題や授業への参画を加味し、総合的に評価します。
受講に向けての心構えと準備	上記の学習目標を達成するため、テキスト／対象を丁寧に分析する力、批判的にテキスト／対象を検討し、得られた知見を適切な形で言語化する力を培い、高めましょう。 1学期には、単元学習を中心に授業を進め、必要に応じて問題演習を実施します。 2学期には、問題演習を中心に授業を進め、適宜、単元の講読を実施します。

	学習事項	学習内容	備考
一 学 期	①「クレールという女」須賀敦子 ②「夜中の汽笛について、あるいは物語の効用について」村上春樹 ③「物語としての自己」野口裕二	・「物語」(ナラティブ)の有する力を考える。 ・テキストの講読を通じて、批判的読解力を培う。 ・必要に応じて、問題演習を実施する。	第1回 スタディサポート (4月)
	中間試験		
	①「空缶」林京子 ②「戦争と平和についての観察」中井久夫 ③「虚ろなまなざし」岡真理	・平和への視座から「戦争」について考える。 ・テキストの講読を通じて、批判的読解力を培う。 ・必要に応じて、問題演習を実施する。	第1回 進研模試 (6月)
	期末試験		
二 学 期	・問題演習	・大学入試(一般選抜)を念頭に問題演習を実施する。 コース・クラス・生徒の進路希望や特性に応じて、使用する教材や過去問題は随時指定していく。 ・適宜、単元学習(文章の講読や各種活動)を実施する。	
	中間試験		
	・問題演習	・大学入試(一般選抜)を念頭に問題演習を実施する。 コース・クラス・生徒の進路希望や特性に応じて、使用する教材や過去問題は随時指定していく。 ・適宜、単元学習(文章の講読や各種活動)を実施する。	
	期末試験		

*上記の年間指導計画の内容は、授業進行や受講生徒の学習実態に応じて、変更する場合があります。